

もの言える国であるために

作詞作曲:伊東多嘉子

♩ = 80



1. 草案を読めば 改正といいながら まるで戦ぜんの 大目
2. 国会と言う場所 は ぎかいといいながら ぎろんは深まらず 数で



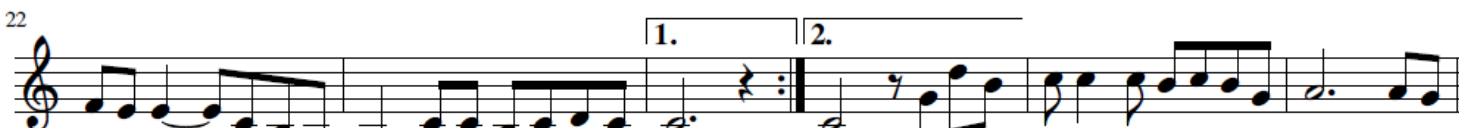
本帝こくけん法 天皇の権げんは かくだいされて 国民のしゅけんは
決ま っ て ゆ く 選挙のきか んは にしゅうか んだけ 国民の中 には



どこへいったの 報道のじゅうは くずされていく 何も言えなくな
かんがえるまえに 投票の日をむか えとまどうがま ま やがてむかんしん



る いまこそ 目を見ひらいて なにがたいせつなの か なにをまもるべき
に ひざをつき あわせ



1. なのか みきわめ ようではないか
2. なのか せんじょうへ こどもたちを いか
はなし あ おうではない



せ てはならない ころしあいは いつでも 連鎖をひきおこした いまこ



そ 手を取りあ っ て いまのへいわけんぼうを ほこりまもりせか



い に ひろめ よ う ではないか